

県科学発表大会

地学部門 最優秀賞！！

11月6日（土）、長崎県科学発表大会が平戸市文化センターで開催され、口頭発表地学部門に出場した川田 匠人 さん（理科部2年）の「長崎県沿岸のマイクロプラスチックの分布―第2報―」が**最優秀賞**を受賞しました。

この大会は県下の理科クラブ等で活動する生徒が一堂に会し、研究内容を発表するとともに、生徒相互の交流を深め、高校生の自然科学に対する興味・関心を喚起することを目的に開催されるものです。今年は口頭発表部門、ポスター部門ともそれぞれ16班の参加がありました。本校からは、6班8名が参加しました。

最優秀賞を受賞した川田さんの研究は、昨年度からの継続研究で、装置を改良したり、調査地点を増やすといった地道な努力と工夫されたプレゼンテーションが高く評価されました。九州大会に加え、来年8月に東京で開催される全国高等学校総合文化祭へ推薦されることになりました。また、上位入賞を果たせなかった班も次へのヒントを多く得ることができ、大変有意義な発表会となりました。

部門		発表タイトル
口頭発表	地学	長崎県沿岸のマイクロプラスチックの分布―第2報―
ポスター発表	物理	自作ヘルムホルツ共鳴器を用いた高精度体積測定を目指して
	化学	シロアリのセルロース分解酵素を用いた糖化について
	生物	イトトンボは、なぜ休息時に翅を閉じるのか
	生物	大高ビオトープのヤゴ2種の生態 ―成長・羽化―
	生物	40年ぶりに発見されたカワヨシノボリのなぞに迫る

